

別紙

1 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	補助事業の名称	補助事業者名又は 間接補助事業者名	補助事業に 要した経費	補助金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	町道豊田曾谷線外交通安全 対策工事	京丹波町	4,788,300	4,400,000	

注 事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けてください。

2 事業評価個表

番号	措置名	補助事業の名称			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道豊田曾谷線外交通安全対策工事			
補助事業者名又は間接補助事業者名		京丹波町			
補助事業実施場所	京丹波町 豊田 外				
補助事業の概要	<p>通学路等交通安全プログラムにより、改善の必要がある道路の交通安全対策工事を行い、歩行者の安全を確保するもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事延長 L=1,635m ・区画線工(実線・15cm)L=3,370m、区画線工(破線・15cm)L=103m、区画線工(文字記号)L=34m、区画線工(カラー路面標示)N=3箇所、小型標識工N=11基 				
補助事業に関する主要政策・施策と目標	<p>通学路等交通安全プログラム 基本方針：継続的に通学路等の安全を確保するため、引き続き合同点検を実施するとともに、対策実施後の効果把握を行い、さらなる対策の改善・充実を図ります。 これらの取組をPDCAサイクルとして繰り返し実施し、通学路等の安全性の向上を図っていきます。 (施策分野：道路・交通 施策方向：道路の整備) ・目標：安全対策完了数(R3年度～R9年度) 現状 9箇所(R4年度) 最終目標 18箇所(R9年度)</p>				
事業開始年度	令和5年度	事業終了年度	令和5年度		
事業期間の設定理由					
補助事業の成果目標及び成果実績	定量的な成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和6年度
	交通安全施設の整備を行い、通行者の安全を確保する。	安全対策完了割合 安全対策完了数÷ 18(目標数)×100	成果実績	箇所	12
			目標値	箇所	18
			達成度	%	66
	評価年度の設定理由				
	事業実施翌年度に評価を実施。				
	補助事業の定性的な成果及び評価				
	-				
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無					

補助事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	5年度	年度	年度	
	町道豊田曾谷線外の安全対策 L=1,635m		活動実績	m	1,635		
			活動見込	m	1,635		
			達成度	%	100		
補助事業の総事業費等	5年度	年度	年度	備考			
総事業費	4,788,300						
補助金充当額	4,400,000						
補助事業の契約の概要							
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方			契約金額	
	道路工事	一般競争入札	株式会社 徳本組			4,788,300	
	計					4,788,300	
補助事業の担当課室	土木建築課						
補助事業の評価課室	土木建築課						

注 1 事業ごとに作成してください。

2 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入してください。

3 補助事業に係る主要政策・施策と目標の欄は、当該事業が関連づけられている自治体の上位政策・施策とその目標を記載してください。

4 事業終了年度は必ず設定してください。また、事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載してください。

5 補助事業の成果目標及び成果指標の欄は、補助事業に係る主要政策・施策と目標を踏まえて定量的に記載してください。当該事業の定量的評価が困難な場合には、補助事業の定性的な成果及び評価の欄に、定性的な成果及び評価を記載してください。

6 評価年度の欄は、補助事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ、評価年度を記載し、当該評価年度を設定した理由を評価年度の設定理由の欄に記載してください。なお、補助事業の成果及び評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮してください。

7 成果実績の欄は評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載してください。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、別途、報告を行ってください。なお、成果実績を別途報告する際に、補助事業の成果及び評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行ってください。

8 補助事業の定性的な成果及び評価の欄は、上記5の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに成果及び評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載してください。

9 成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄は、成果及び評価に第三者機関等を活用した場合にあっては、当該機関等の名称及び構成員等を記載してください。

10 補助事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載してください。

11 補助事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けてください。

12 補助事業の担当課室は事業を実施した課室、補助事業の評価課室は事業評価を実施した課室の名称を記載してください。事業実施課室と評価実施課室が同一でも構いません。